

# 2023 ズバリ! 的中



# 日本史

## 早稲田大学

琉球の歴史に関する問題で琉球王国を成立させた  
尚巴志と薩摩藩の支配に関する正誤問題が的中

### 入試問題

2月12日実施  
文化構想学部 一般  
〔1〕〔問〕6、8

〔1〕 琉球列島の歴史に関する次の文章を読んで、問に答えなさい。

サンフランシスコ平和条約発効後もアメリカの施政権下におかれていた沖縄は、1972年5月、日本に復帰した。しかし基地問題など様々な課題を抱えての復帰で、その多くが今も未解決のままである。そこには、近代以降の歴史だけでは捉えきれない、難しい問題も内包されている。ここで、沖縄地域の歴史について少し振り返ってみることにしよう。

琉球列島の人々は、日本の弥生時代や古墳時代、九州島の人々と貝交易などを通じて盛んに交流を行っていた。けれども日本の史料において、倭国中樞部と琉球列島の交流が伝えられるのは推古天皇の時代以降である。そこには、6世紀後半から7世紀前半頃の緊迫化した東アジア情勢をうけて、倭国が列島周辺部への関心を高めていたことが影響しているだろう。その後、律令国家の時代になると、この地域は「南島」と総称され、日本王権に朝貢すべき版図外の地域として位置付けられていく。奈良時代後半には、南島人の来朝記事が史料から見えなくなるが、その後も大宰府などを介し、交易関係は維持されていたとみられる。ただし、その実態を伝える文字資料は乏しい。

一方、近年の考古学研究によれば、琉球列島では11世紀以降、須恵器に似た土器の生産や流通がみられるなど、新たな動きがあった。やがて按察と呼ばれた各地の首長たちがグスクを拠点に勢力を広げ、これらは沖縄本島において、山北(北山)・中山・山南(南山)の3つの勢力(三山)に統合されていく。また三山の王は、相次いで中国と外交関係を結んだ。その後、1420年代に中山王のAが三山を統一し、琉球王国が成立した。

琉球王国は、広い海域で貿易活動を行い栄えた。しかしほどなくして、ポルトガル人のアジア貿易への進出など、あいつつ競争相手の登場により、16世紀にはその活動が後退する。さらに1609年、琉球は薩摩の島津氏によって征服され、薩摩藩の支配下に入る。

その後、明治になると、政府は、島津氏と中国に「同属」する琉球王国を近代国家に編入していく。ただし、土地・租税・地方制度は旧制度が温存され、参政権の付与も遅れた。このため、沖縄県最初の学士となったBらによる改革を求める運動も起こされた。その後も沖縄は、日本と国際社会の狭間で揺れ動き続けることとなる。

〔問〕

⋮

6 空欄Aに該当する人物は何か。漢字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。

⋮

8 下線gに関して述べた文のうち正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- a 薩摩藩主の島津斉彬が、琉球に軍を派遣した。
- イ 薩摩藩は、琉球で検地をおこなった。
- ウ 薩摩藩の支配下にあっても、通商交易権は全面的に琉球王国にあった。
- エ 薩摩藩は、琉球王国と中国との関係には全く関与できなかった。
- オ 薩摩藩の琉球侵攻は、幕府の同意を得ぬまま実行された。

### 河合塾

冬期講習  
早慶大日本史  
第1講 3問1(1)、問2

第1講

③ 沖縄の歴史について述べた次の文章を読んで、以下の問1～問5に答えよ。

沖縄本島では、15世紀前半に琉球王国が成立し、周辺地域と広く交易を行なって繁栄し、独自の文化を発展させた。豊臣秀吉や徳川家康によって日本の統一が進むと、琉球王国はこれらの政権による対外政策の影響を受けるようになり、17世紀初めには幕藩体制に組み込まれた。

明治時代になると、明治政府は近代化政策を推進するとともに、近隣諸国との外交や国境の画定に取り組み、琉球に対しては、c 沖縄県として日本の領土に組み込んだ。

太平洋戦争末期には、アメリカは、d 日本本土に無差別爆撃を行なうとともに、沖縄への攻撃を開始し、島民を巻き込み激しい戦いの末に占領した。沖縄は、日本が敗北し講和条約が締結された後もアメリカの占領下に置かれた。日本への復帰が実現した後も沖縄には、e 広大な米軍基地が存在し続けている。

問1 下線部Aに関連して、琉球王国の成立前後の状況についての次の文章を読んで、以下の(1)、(2)に答えよ。

沖縄本島では、12世紀頃になると各地に( a )と呼ばれる地縁的豪族が現れ、その後、三山に統合されていった。15世紀前半には中山王の( b )が三山を統一して琉球王国を築いた。琉球王国は明朝と国交を結び、明が海禁政策をとっていたことから、日本、朝鮮や東南アジア地域との中継貿易を活発に行なった。琉球王府のもとで編纂された全22巻におよぶ歌謡集( c )に収録された琉球歌謡には、各地への航海の様子を歌ったものもある。

(1) 上の文章中の( a )～( c )に入る適切な語句を、記述せよ。

(2) 上の文章中の波線部について、当時の琉球国王と明朝皇帝との関係はどのようなものであったか。その関係を表す用語を使用して、簡潔に説明せよ。(40字程度)

問2 下線部Bに関連して、豊臣・徳川政権と琉球王国との関係について述べた次の1～4の文章の中から、誤りを含むものを1つ選べ。

1. 豊臣秀吉は薩摩の島津氏を通じて琉球王国に服属と朝貢を求め、島津氏は秀吉に朝鮮への出陣を求められた際に琉球王国に兵糧の提供を要求した。
2. 島津氏は徳川幕府の許可を得て琉球王国に侵攻してその支配下におくと、明朝との関係を断絶させ、明との通商交易権を奪った。
3. 薩摩藩は、琉球王国にも検地・刀狩を行なって農村支配を確立し、那覇に役人を派遣して、特産物の黒砂糖などを上納させた。
4. 徳川幕府は琉球王府に対して、国王の代替わりごとにその就任に感謝する謝恩使を、將軍の代替わりごとにそれを奉祝する慶賀使を江戸に派遣させた。